

13期 北摂の歴史ロマンを愉しむ（1月①）

日時 2026年1月23日（金）
10:00～11:50

場所 大山崎歴史資料館



講師 大山崎歴史資料館 館長 福島克彦 先生

内容：本能寺の変から山崎合戦へ

要旨 本能寺の変（織田信長と嫡男信忠の在京。明智光秀の行軍と従軍兵士の認識）・
光秀の京都防衛・羽柴秀吉の動向・合戦と大山崎について

講師は古文書を中心として当時の状況を読み解かれ、興味深く認識を新にすることが出来た。例えば、天正10年5月27日（本能寺の変は6月2日）の信忠の信長側近森蘭丸へ宛てた文では、信長は上洛されるので堺見物は遠慮する。徳川家康は明日堺へ行く。等々

光秀は信長を討ち果たす逆心の企てを同志と極めていたが、光秀の兵士は信長の命により家康を殺すつもりであろうと考えていた等…。

現地学習 12:45～15:30

ガイドさんによる史料館内の展示品の解説と近隣の史跡探訪。

館内は5つのコーナーに分かれ古代コーナー、中世コーナー、山崎合戦と待庵・利休コーナー、近世コーナーの構成となっている。特に館内に復元されている待庵（妙喜庵、国宝）は見どころである

資料館から近くの離宮八幡宮へ

ここは嵯峨天皇の離宮・河陽宮のあったところで「河陽宮故祉」の石標あり、859年清和天皇の勅命でここに神をまつり離宮八幡宮と命名。山城国大山崎荘の長者が、えごま油を献上し「本邦製油発祥地」となった。



その後は大山崎山荘庭園から
大山崎瓦窯跡公園を探訪し
解散した。

13期 北摂の歴史ロマンを愉しむ（1月②）

日時 2026年1月30日（金）

10:00～12:00

場所 高槻市センター街ビル

講師 大山崎町歴史史料館 館長 福島克彦 先生

内容：戦国織豊期 摂津富田集落と「寺内」

要旨 最初に、戦国時代の富田と堺の集落の成り立ちが、機能別に分かれた地域が複合的に構成されて似ているところと地域の保護権力の違いなど詳しい解説があった。

次いで、富田荘と普門寺 第14代将軍足利義栄は富田庄普門寺に居所、御座所とする。条里型地割の水田が存在し、足利将軍家と細川京兆家との関係を深めた。

普門寺では行政が行われ、普門寺城・堀などが形成されたとも伝わる。

現地学習 13:05～15:30

酒蔵が残る寺内町を探訪

高槻市のボランティアガイドによる案内で、富田の北方より清蓮寺、筒井池跡地、本照寺、普門寺、三輪神社、教行寺など社寺の多くを訪ねた。特に普門寺では住職から詳しい説明を受けた。

又、富田は阿武山山系から流れ出る清水と、地元の良質な酒米に恵まれ、古くから酒造の盛んな地域で、最盛期には「紅屋」を筆頭に、24軒の酒造メーカが犇めいていた。現在は2軒を残すのみとなっている。一行はそれぞれに立ち寄った。



本堂の鬼瓦（本照寺）



細川晴元公宝篋印塔
（普門寺）



教行寺



清蓮寺

（3班広報担当）